

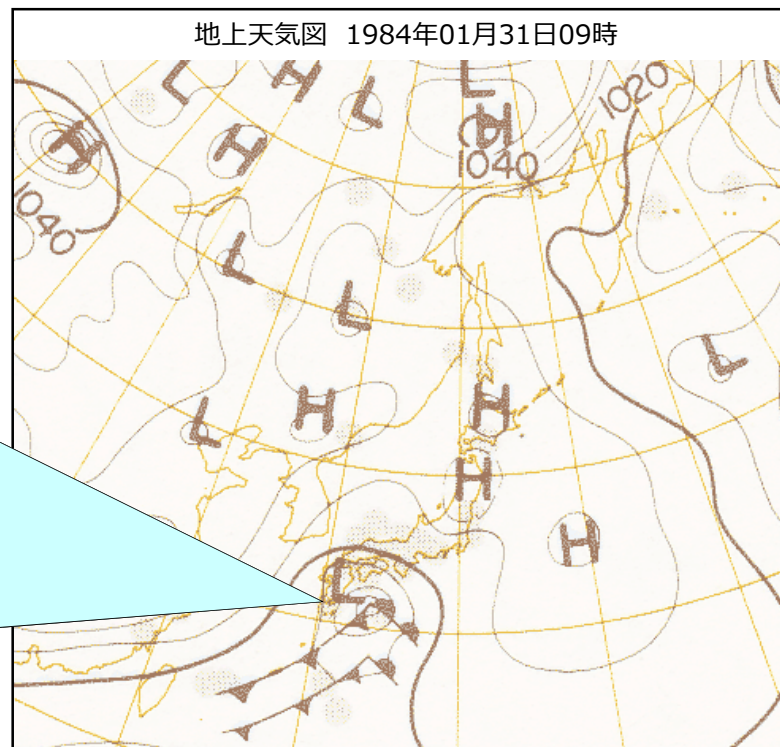
昭和59年（1984年）1月31日 南岸低気圧による大雪



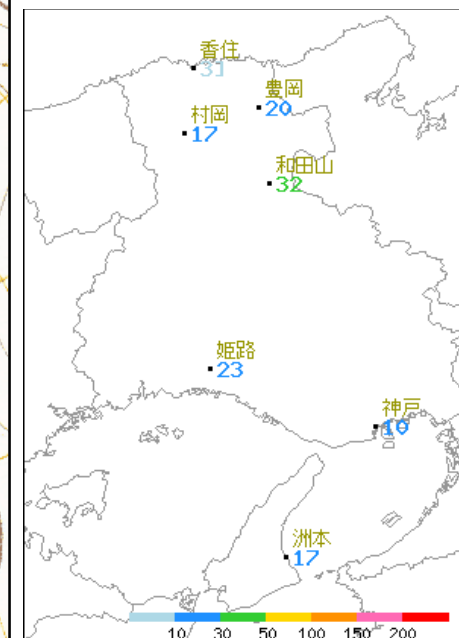
- 大阪府および兵庫県南部では南岸を低気圧が通過して大雪となった。
- 1月31日の大阪府及び兵庫県内の気象官署の日降雪量は、大阪（18センチ）、姫路（23センチ）、洲本（17センチ）で極値順位1位、神戸（10センチ）で極値順位2位となった※。

※ 2020年12月28日現在

30日に東シナ海で発生した低気圧は発達しながら東北東に進み、31日09時に四国の南海上を通過して同21時には房総半島の南海上に達した。この低気圧の通過に伴い上空には寒気が流れ込んだため、近畿地方では31日未明から大雪となった。雪は平野部では31日日中にはみぞれや雨に変わったが、この間降り続いた雪のため、瀬戸内海沿岸平野部でも10～30cmの積雪となった。



日降雪量 [cm] (1984年1月31日)



大阪府と兵庫県の被害状況

※ 被害は当時の新聞記事等から収集したものです。

- 積雪で滑って転倒、自動車の事故等により人的被害、道路の通行止め。鉄道、バス、航空機の運休、遅延など交通機関に大きな乱れが発生。農業施設にも大きな被害。
- 交通障害： 鉄道・バス・航空機など多数が運休、高速道路や一般道でも通行止め多数
 - 農業被害： 雪の重さによるパイプハウスや作物への被害
 - 人的被害： 転倒や交通事故により死者1名ほか負傷者多数